

【 第26回 世界学生選手権 】

2016年6月27日～7月3日 スペインノマラガ

試合結果報告 6月28日 (火)

| JAPAN | VS | INDIA |
|-------|----|-------|
| 22 | 前半 | 9 |
| 31 | 後半 | 7 |
| 53 | 合計 | 16 |

個人得点

| 名前 | 前半 | 後半 | 合計 |
|--------|----|----|----|
| 茶園 遙 | | | 0 |
| 堀川 真奈 | 3 | 2 | 5 |
| 石井 優花 | 3 | | 3 |
| 佐々木 春乃 | 2 | 4 | 6 |
| 角南 果帆 | 2 | 2 | 4 |
| 大山 真奈 | 1 | 7 | 8 |
| 河嶋 英里 | 3 | | 3 |
| 秋山 なつみ | 2 | 2 | 4 |
| 松本 ひかる | 2 | 7 | 9 |
| 三田 未稀 | 2 | 5 | 7 |
| 岩淵 いくみ | | 1 | 1 |
| 板野 陽 | | | 0 |
| 北原 祐美 | 2 | 1 | 3 |
| 佐原 奈生子 | | | 0 |
| 徳永 千紘 | | | 0 |
| 馬場 敦子 | | | 0 |
| 合計 | 22 | 31 | 53 |

試合結果

タイムアウト後の攻撃で、マンツーマンにつかれていたNO2がカットインを決め後半1点目を奪う。その後の日本は、DFで足を動かし積極的にボールを奪い、大山、角南、松本、三田の連続速攻、セットオフenseでは、エース佐々木のロング、堀川のポスト、松本のサイドと得点を重ね、最後まで日本はDFでの積極性、OFでの足を使った速攻と確実に得点を奪い、最終的には53-16の37点差でインドに勝利する。

戦評

インドスローオフで前半スタート、日本は6-0DFで積極的にボールを奪う躍動感あるDFからインドのテクニカルミス、パスカットから角南、松本らの速攻で5連続得点を上げる。インドも4分過ぎDFの間を抜いて得点を上げるが、日本は5分過ぎからメンバーを入れ替え、堀川、石井、河嶋を投入。日本は、その後も攻撃の手を緩めることなく三田の7MT、河嶋のサイド、石井7MTと連続得点により10分過ぎには10-3とし試合を有利に進める。日本は14分過ぎに、DFで堀川が退場し1人少ない攻撃だが、北原が強烈なミドルを打ち込み追加点を奪う。インドもオフenseでクロス攻撃を多用し、日本のマークミスを誘い、NO7、NO5で連続得点を奪い22分過ぎには6点目を奪う。その後、日本は石井、秋山、堀川が得点をあげ、インドはNO2が連続してミドルシュートを決め、22-9の13点差とリードを奪い前半を終了する。後半も、開始早々に佐々木が強烈なロングをゴールに突き刺し23点目を奪う、DFではインドのオフenseのキーマンNO2にマンツーマンDFで攻撃のリズムを崩したところを、大山の連続FB、角南のFB、秋山と連続得点を奪い後半、インドを得点を与えず連続6得点を奪い28-9としたところでインドがタイムアウトを請求。

報告記入者：

横手健太